



医学統計研究会の現況

平成 26 年度 会報

Vol.10

A. 平成 26 年度の活動と事業は以下のとおりである.

I. 事業期間

平成 26(2014)年 4 月 1 日 ~平成 27(2015)年 3 月 31 日.

II. 事業の成果

(1) 新規事業

- ①「医学統計研究会」の設立 10 周年を記念して、2014 年 8 月 30 日に特別講演会と祝賀会を開催した. さらに、前日の 2014 年 8 月 29 日に夏季セミナー 2014 大阪を開催し、医学統計学の最近の主題の深耕と啓発をはかった.
- ②(株)先端医学社からの依頼を受けて『骨粗鬆症治療』誌へ「統計講座」の連載を開始した. 因みに、第 1 回の題目は、「臨床研究を評価する際の注意点とは」である.
- ③特定主題シンポジウム 2014「樹木構造接近法でみる臨床評価」を 2014 年 6 月 13 日に開催した. 時宜に合った主題で好評であった[p.2,III-1(1)を参照].
- ④医薬品の開発における最近のニーズに応じて特定主題シンポジウム 2014「医薬品開発におけるバイオマーカの活用:個に基づく最適治療の探索」を 2014 年 11 月 8 日に開催した. 最新の話題で多方の注目を集めた[p.2,III-1(4)を参照].

(2) 継続事業

- ①「日本心血管インターベンション治療学会」からの要請を受け、昨年に引き続き、論文誌へ「医学統計入門」[9]の連載稿を継続している。「経時対応データの解析(1)」を執筆中である.
- ②特定主題セミナー 2014「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」も 10 回目の開催を数え、本研究会の「目玉」の事業ともいえる形式で定着している. 平成 26 年度は、最新の話題を含め、昨年と同じく 2 日間(終日)で開催した[p.2,III-1(2)を参照].
- ③定例シンポジウム 2014「医療で必要とされる統計的基礎知識」は 13 回目を数え、平成 25 年度に続き医学・医療における臨床評価の過程で必須の統計的方法論の基本とその実践・活用での留意点が解説・議論された. とくに統計的推測の基礎、および最近に話題になっている統計的診断の方法が詳しく紹介された. また、最近の医学論文に散見される統計的誤謬や誤解についても卓越した講演と議論があった[p.2,III-1(3)を参照].
- ④これまでのシンポジウムで数度にわたり取り上げてきた Bayes 流接近法に関して、特定主題シンポジウム 2015「臨床評価における Bayes 流接近法」を開催した. 個々の講演では、Bayes 流接近法の臨床現場での活用事例や経験則が報告され、パネル・ディスカッションでは臨床試験に実装する際の留意点や事前情報の活用方法に関する活発な討議が行われた[p.3,III-1(5)を参照].

- ⑤臨床研究に関する統計相談・技術指導は、昨年に続いて活発であった。内容は臨床試験のデザインから観察研究データの統計解析まで広範に亘った。
- ⑥冬季セミナー鹿児島 2015 を開催した。主題として「最近の臨床評価におけるモデルの構築と推測」が俎上にあげられ、活発に議論された [p.4,III-1(12)を参照]。
- (3) 共同開発事業
e-learning 型医学統計学習システム(PSL:Productive Self-Learning System of Biostatistics)『医学統計学習塾』(相関・回帰解析の過程)の共同開発を継続している。とくに、その利用の便宜と誤用を避ける意味で単回帰解析を中心に開発した。
- (4)技術指導事業
会員およびその関係者から要請された臨床試験に関わる二三の実際業務について相談・指導を行った。とくに、PMDA への応対についても二三の技術指導を行った。
- (5)本研究会に所属している会員の博士学位取得に向けての研究を指導・支援した。
- (6)連携事業
- ① 2014 年 6 月より開始された日本計算機統計学会スタディ・グループ「統計科学における包括モデルの構築と応用」(代表：丸尾和司)が開始された。定例研究会[東京]を中心に主題の検討が進められている。
 - ② 大分統計談話会の第 50 回大会(2014 年 10 月 8-9 日)と第 51 回大会(2015 年 2 月 12-13 日)の開催を支援し、共催した。

III. 事業の実施状況

1. 特定非営利活動に係る事業

- (1)特定主題シンポジウム 2014 「樹木構造接近法でみる臨床評価」
(日時) 2014 年 6 月 13 日 (金).
(会場) 生涯学習センターばるーん.
(参加者) 27 名 (有料参加者 16 名, 支援参加者 11 名).
- (2)特定主題セミナー2014 「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」
(日時) 2014 年 8 月 7 (木) -8 日(金).
(会場) 生涯学習センターばるーん.
(参加者) 27 名 (有料参加者 21 名, 支援参加者 6 名).
- (3)定例シンポジウム 2014 「医療で必要とされる統計的基礎知識」
(日時) 2014 年 10 月 25 日(土).
(会場) ファイザー(株)会議室.
(参加者) 36 名 (有料参加者 25 名, 支援参加者 11 名).
- (4)特定主題シンポジウム 2014
「医薬品開発におけるバイオマーカの活用：個に基づく最適治療の探索」
(日時) 2014 年 11 月 8 日(土).
(会場) エーザイ(株) 小石川ナレッジセンター 101A・B 会議室
(参加者) 33 名 (有料参加者 21 名, 支援参加者 11 名).

(5)特定主題シンポジウム 2015 「臨床評価における Bayes 流接近法」

(日時) 2015 年 2 月 7 日(土).

(会場) アステラス製薬(株) 日本橋本社 別館 8 階ホール.

(参加者) 70 名 (有料参加者 40 名, 支援参加者 30 名).

(6)定例会[大阪]

①O 2014-5-10

(日時) 2014 年 5 月 10 日(土). 14:00~17:00.

(会場) イーピーエス(株)

(参加者) 8 名.

②O 2014-7-19

サマー・フォーラム 2014 および日本計算機統計学会・スタディ・グループ「統計科学における包括モデルの構築と応用」シンポジウム 2014 と共催.

(参加者) 21 名

③O 2014-8-29

夏季セミナー大阪 2014 と共催.

(参加者) 13 名

④O 2014-10-24

定例研究会 [東京] T2014-10-24 と共催.

(参加者) 5 名

⑤O 2014-11-7

定例研究会 [東京] T2014-11-7 と共催

⑥O 2015-1-24

冬季セミナー鹿児島 2015 と共催

⑦O 2015-3-14

(参加者) 11 名

(7)定例研究会[東京]

①T 2014-4-4

(日時) 2014 年 4 月 4 日(金). 13:30~17:30.

(会場) クリニカル・スタディ・サポート別府事務所

(参加者) 5 名.

②T 2014-5-15

(日時) 2014 年 5 月 15 日(木). 13:30~17:30.

(会場) 青山生涯学習館

(参加者) 5 名.

③T 2014-6-12

(日時) 2014 年 6 月 12 日(木). 13:30~17:30.

(会場) 生涯学習センターばるーん.

(参加者) 6 名.

④T 2014-7-19

サマー・フォーラム 2015 と共催.

⑤T 2014-8-7

(日時) 2014 年 8 月 7 日(木). 13:30~17:30.

(会場) 生涯学習センターばるーん.

(参加者) 5 名.

⑥T 2014-10-24

(日時) 2014 年 10 月 24 日(金). 13:30~17:30.

(会場) ファイザー(株)会議室
(参加者) 5名.

⑦T 2014-11-7

(日時) 2014年11月7日(金). 13:30~17:00.
(会場) エーザイ(株)
(参加者) 6名.

⑧T 2014-12-19

(日時) 2014年12月19日(月). 13:30~17:30.
(会場) ファイザー(株)
(参加者) 10名.

⑨T 2015-1-24

冬季セミナー鹿児島2015と共催.

⑩T 2015-2-6

(日時) 2015年2月6日(金).
(会場) 生涯学習センターばるーん
(参加者) 7名.

(8)スプリング・フォーラム2014

(日時) 2014年4月5日(土).
(会場) クリニカル・スタディ・サポート別府事務所
(参加者) 21名.

(9)サマー・フォーラム2014

日本計算機統計学会スタディ・グループ「医薬品評価におけるシミュレーションの過程」
研究進捗検討会と共催で開催した.

(日時) 2014年7月19日(土).
(会場) 茨木市クリエイトセンター[会議室].
(参加者) 21名.

(10)ウィンター・フォーラム2013

(日時) 2014年12月6日(土).
(会場) 豊中中央公民館.
(参加者) 36名.

(11)夏季セミナー2014

(日時) 2014年8月29日(金). 9:30~17:00.
(会場) A&H 会議室
(参加者) 17名.
(付記) 定例会(大阪)O 2014-8-29と共催.

(12)冬季セミナー2015

(日時) 2015年1月17日(土). 9:30~17:00.
(会場) 宝山ホール(鹿児島県文化センター).
(参加者) 22名.
(付記) 定例会(大阪)O 2015-1-17と共催.

2. その他の事業

なし.

IV. 総会の開催状況

1. 通常総会

(日時) 2014年5月10日(土). 16:30~17:30.

(会場) イーピーエス㈱ 大阪事務所 会議室.

(会員総数) 68名(正会員のみ).

(出席者数) 61名(うち委任状出席者:52名).

(内容) 第1号議案:平成25年度事業報告.

第2号議案:平成25年度活動計算報告[財産目録・貸借対照表を含む].

第3号議案:平成26年度事業計画.

第4号議案:平成26年度収支予算.

第5号議案:その他.

いずれの議案も審議の結果, 全員一致で可決承認.

V. 理事会その他の役員会の開催状況

1. 第1回理事会

(日時) 2014年5月10日(土). 11:00~12:00.

(会場) イーピーエス㈱ 大阪事務所 会議室.

(理事総数) 24名.

(出席者数) 6名[うち委任状出席者18名].

(内容) 第1号議案:平成26年度通常総会:平成25年度実績[事業報告書・収支報告書].

第2号議案:平成26年度事業計画.

第3号議案:新規事業.

第4号議案:会員動向[平成26年5月10日現在].

第5号議案:今後の予定.

いずれの議案も審議の結果, 全員一致で可決承認.

2. 第2回理事会

(日時) 2014年7月19日(土). 13:00~14:30.

(会場) 茨木市クリエイトセンター 会議室.

(理事総数) 24名.

(出席者数) 6名[うち委任状出席者18名].

(内容) 第1号議案:平成26年度事業の進捗.

第2号議案:平成25年度実績[事業報告書・収支報告書]

第3号議案:新規事業:とくに10周年記念事業.

第4号議案:会員動向[平成26年6月30日現在].

第5号議案:今後の対応.

いずれの議案も審議の結果, 全員一致で可決承認.

B. 平成26年度の収支決算書の概要を下表に記しています. 詳細は豊中市宛に提出する資料(「閲覧」可)に記載します.

・収入の部		単位(円)	・支出の部		単位(円)
内訳：	入会金・会費収入	3,375,000	内訳：	事業費	3,357,030
	事業収入	1,867,798		管理費	2,088,147
	利息収入	1,117			
	技術指導料	369,400			
	原稿料	51,900		当年度支出合計	5,445,177
	資料販売	37,250			
	当年度収入合計	5,702,465		・当年度収支差額	257,288
前年度繰越金額(設立時資金有高)		3,637,008	・次年度繰越収支差額		3,894,296

平成 26 年度の活動および本資料の内容については、2015 年 3 月 31 日までの収支決算が通常総会で承認された後に改めて「事業報告書」にて報告いたします。

VI. 事業の計画

平成 27 年度[2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日]の事業も以下のように計画しています[敬称略]
(*は連携支援事業を指します)。

4月

4月4日(土)	スプリング・フォーラム2015	(会場)千里東町公園
4月15日(水)	第1回理事会開催	ネットワーク理事会
4月24日(金)	定例研究会[東京]T2015-4-24	(会場)生涯学習センターばるーん

5月

*5月14(木)-15日(金)	日本計算機統計学会. 第29回大会	(会場)山梨県立図書館
5月15日(金)	定例研究会[東京]T2015-5-15	(会場)山梨県立図書館

6月

6月6日(土)	平成27年度第1回通常総会	(会場)(株)ベル・メディカル ソリューションズ
6月19日(金)	定例研究会[東京]T2015-6-19	(会場)生涯学習センターばるーん
6月20日(土)	特定主題シンポジウム2015「臨床評価における統計的経験則」	(会場)エーザイ(株) (組織者)高瀬貴夫・富金原 悟・藤澤正樹・松原義弘

7月

7月18日(土)	サマー・フォーラム2015/平成27年度第2回理事会 [定例会[大阪]O 2015-7-18・定例研究会[東京]T 2015-7-18と共催]	(会場)茨木市クリエイトセンター会議室
----------	--	---------------------

8月

8月6(木)-7日(金)	特定主題セミナー2015「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」	(会場)生涯学習センターばるーん
8月6日(木)	定例研究会 [東京]T 2015-8-6	(会場)生涯学習センターばるーん

8月8日(土) 特定主題シンポジウム2015
「臨床試験におけるデータの整備と標準化：CDISCの実践と課題」
(会場)第一三共(株)会議室
(世話人)永久保太士・藤澤正樹・松原義弘・渡辺敏彦

9月

9月26日(土) 秋季セミナー2015 (会場)和歌山県立医科大学
(世話人)下川敏雄

10月

*10月8(木)-9日(金) 大分統計談話会・第52回大会 (会場)富士通大分システムラボラトリ
10月23日(金) 定例研究会[東京]T 2015-10-23 (会場)ファイザー(株) 会議室
(定例会[大阪]O 2015-10-23と共催)
10月24日(土) 定例シンポジウム2015「医療で必要とされる統計的基礎知識」
(会場)ファイザー(株) 会議室
(組織者)河合統介・杉本知之・丸尾和司・五十川直樹

11月

11月14日(土) 特定主題セミナー2015「臨床評価における計算環境Rとその周辺」
(会場)大阪
*11月27日(金)-28日(土) 日本計算機統計学会第29回シンポジウム
(会場)釧路まなぼっと弊舞

12月

12月5日(土) ウィンター・フォーラム2015／平成27年度第2回通常総会
(会場)豊中中央公民館
12月14日(月) 定例研究会[東京] T 2015-12-14 (会場)ファイザー(株)会議室

2016年1月

1月23日(土) 冬季セミナー鹿児島2016 (定例会[大阪]O 2016-1-23と共催)
(会場)宝山ホール
1月29日(土) 定例研究会[東京] T 2016-1-29 (会場)生涯学習センターばるーん
1月30日(土) 特定主題シンポジウム2016「臨床評価におけるバイオマーカの活用」
(会場)アステラス製薬(株)
(組織者)武田健太郎・河合統介・廣岡秀樹

2月

*2月9(火)-10日(水) 大分統計談話会・第53回大会 (会場)富士通大分システムラボラトリ

3月

3月12日(土) 特定主題セミナー2016「医学統計実践入門」
[定例会[大阪]O2016-3-12/定例研究会[東京] T 2016-3-12と共催]

(会場)岡山大学
(世話人)坂本 亘・後藤昌司

(※1)会員の方々には、ご住所・アドレスなどの変更の場合にはできるだけ速やかに事務局のほうにご連絡いただくと幸いです。

(※2)会員の方で、平成 25 年度および平成 26 年度の会費未納の方は、できるだけ速やかにお納めいただくようお願いいたします。

編集・発行：特定非営利活動法人 医学統計研究会
〒560-0085 大阪府豊中市上新田 2-22-10-A411
Tel&Fax:06-6835-8790, e-mail:info@bra.or.jp
URL:<http://www.bra.or.jp/>